

産業春秋

その道の
プロなりマ
ニアしか入
手できなか
った情報
が、インタ

ーネットで一般人にも
格段に使いやすくなる
例は枚挙にいとまがな
い。古本もその一つ。
書名がうる覚えだった
り、どれが副題か本題
か分からないものでも
探し出せる仕組みが動
きだしている▼国立情
報学研究所は、断片情
報やイメージだけで多
様な情報源を検索でき
る「想(イマジン)」
の検索サイトを運営し
ている。これに日本最
大級の古書籍データベ
ースサイト「日本の古
本屋」が加わった▼古
本好きの間でよく知ら
れたこのサイトは、書
名や著者が明確でない
と探し出せなかった
が、これで使い勝手が
ぐんと向上した。実は
両サイトの連携は数年
前にも検討されたが、
時期尚早で流れていた
という▼商売の情報
だけに各古本屋の意見
も一律ではない。
「想」は同研究所の地
元、神田神保町の古本
屋との連携を先に手が
け、小規模ながら実績
をつくってきた。それ
が新たな連携で全国9
000店超の古本在庫6
20万冊と対象がぐん
と広がった▼ネットと
本で敵対する場面もま
だ時々見られて試行錯
誤が続く。だが前向き
に、「インターネット
によって、書籍・活字
文化がむしろ活性化す
る」(同研究所・高野
明彦連想情報学研究開
発センター長)ことを
期待したい。